

東京工科大学の遊歩道における野生動物調査

A wildlife survey at a natural trail in Tokyo University of Technology

東京工科大学 農業サークル (NOSA)

大野啓

指導教員 秋元 卓央

東京工科大学 応用生物学部 応用生物学科

キーワード：野生動物、自然観察、写真・動画

1. 目的

東京工科大学は東京都八王子市の多摩丘陵の一角に立っており、総面積は115000坪（約38万m²）と非常に広大である。大学が建設される前の1980年頃、大学の土地は広い森であり、西の方角に向かって森が広がっていた。東京工科大学建てられた後、国道16号線、八王子バイパスが東京工科大学を挟むように通った。そのため東京工科大学の森は大きな道路に挟まれ、動物が往来しにくい環境になったと考えられる。そこで、私は現在の東京工科大学の森にはどのような野生動物が生息しているのか興味がわき、生息している動物の種類、生息場所などを調査することを調査の目的とした。

2. 調査方法

動物の撮影には市販の動体検知カメラを用いた。感知エリア内には感知軸があり、熱（赤外線）を発生する物体が感知軸を横切ることによってセンサーが動作するため、動物が横切ると予想する角度で地面に傾け、動物が横切ると予想される向きに設置した。設置場所は学内の遊歩道脇に1から4番まで4台設置した。一定間隔に設置し住宅街側である西側ではなく、国道16号側の東側に設置した。そしてSDカードをそれぞれセットしていき2~3週間間隔でSDカードを回収、再びSDカードをセット

し、回収したSDカードはデータ確認するサイクルを繰り返した。調査期間は2019年5月1日から2019年12月20日であり、カメラごとと季節ごとに観察できた動物をまとめた。

3. 結果

3-1 観察された動物

観察された哺乳類は、タヌキ、ハクビシン、ノウサギ、アライグマ、アナグマ、イエネコの計6種類であった。図1では(ア)がタヌキ、(イ)がノウサギ、(ウ)がアライグマ、(エ)がアナグマである。イエネコと鳥類と判別できなかった動物をその他とした。



図1 観察された動物達

3-2 カメラごとの結果

カメラ1から4の結果は図2である。カメラ1では遊歩道側には向けず、雑木林のほうへ向けた。そのため、植物が揺れるだけで動物は一切撮れなかった。同じく遊歩道から少し離れて設置したカメラ4も野生動物は少ししか撮影できなかった。カメラを遊歩道側に向けたカメラ2と3は数多くの野生動物を撮影できた。

カメラ2、3ともに9月3日ごろから多くの野生動物が映り始めた。カメラ2では合計で59匹、カメラ3では87匹となった。カメラ2では、たぬきが20匹と一番多く、次いでハクビシンが17匹となった。その他の野生動物は少なかった。カメラ3はタヌキが51匹と一番多く、次に多かったのはアナグマで14匹となった。映っていた動物の半分以上はタヌキであった。カメラ2もその他の野生動物は少く、カメラ3と違ってタヌキは少なかった。

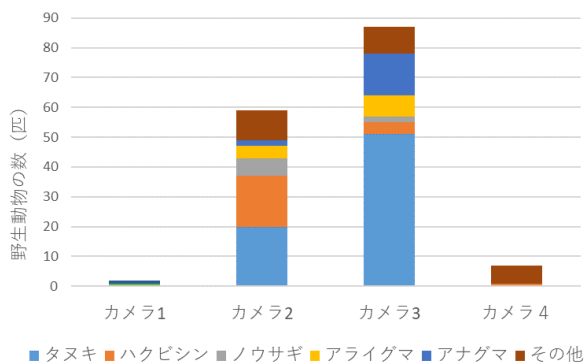


図2 カメラごとの結果

3-2 季節ごとの結果

月ごとに映った野生動物の数をまとめた。5月から8月ごろは鳥しか映っておらず映った数も1~4匹程であった。9月に入ると徐々にたぬきなど野生動物が映るようになった。カメラ2では、9月は15匹と急増し、最高で11月で22匹となった。カメラ3でも9月から11匹と急増し最高で11月に41匹となった。

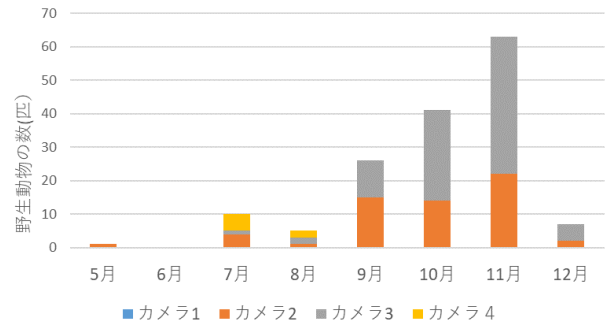


図3 季節ごとの結果

4. 考察

今回では比較的カメラ同士をまとめて設置したが、それぞれで、撮れた野生動物らは違いが見られた。カメラ1ではカメラを雑木林の方へと向けて観察したが、野生動物は草や木が生茂る場所は通り道に利用しないのか、1匹も映ることは無かった。ただ、これは今回偶然、カメラ1の位置を利用しなかった可能性もある。カメラ3で雑木林の方へ行く野生動物も撮影したので、場所を変えれば撮影できた可能性があると考えられる。カメラ4でも遊歩道から離れた木に下を向けて設置していたが多くの野生動物は撮影できなかった。この結果からも野生動物達の多くは遊歩道を利用していると考えられる。

カメラ2、3ではタヌキが多く映っていたことは同じであったが2番目に多く映っていた動物の違いがあった。カメラ2ではハクビシンであったがカメラ3はアナグマであった。カメラの間は54mほどしか離れていないが出没頻度は異なることが分かった。狭い範囲で動物たちはすみ分けしていると考えられる。

また今回確認できた動物は6種類の哺乳類しか確認できなかったが実際に八王子で確認できている動物の種類は36種類の動物が確認されている。¹⁾よってよってある程度道路によって移動が制限されていると考えられる。

参考文献

1) 八王子市市史編集専門部会自然部会／八王子市市史編さん室編(2016)「八王子市動植物目録」